



管理ツール 操作マニュアル

S01-14 Web レポート設定: 管理ツールの設定編

株式会社 NTTデータ NJK

- ・このソフトウェアの著作権は、株式会社 NTT データ NJK にあります。
- ・このソフトウェアおよびマニュアルの一部または全部を無断で使用、複製することは法律で禁止されています。
- ・このソフトウェアおよびマニュアルは、本製品の使用許諾契約書のもとでのみ使用することができます。
- ・このソフトウェアおよびマニュアルを運用した結果の影響については、一切責任を負いかねますのでご了承ください。
- ・このソフトウェアの仕様およびマニュアルに記載されている事項は、将来予告なしに変更することがあります。
- ・このマニュアルで使用している画像には、開発中のものも含まれます。実際の製品と異なる場合がございますことをご了承ください。

DataNature および DataNature Smart は、株式会社 NTT データ NJK の登録商標です。
その他の商品名は、一般に各社の商標または登録商標です。

CONTENTS

マニュアルの表記.....	S01-14_0
1.DataNature Smart 全体概要図.....	S01-14_1
2.基本操作.....	S01-14_2
2-1 作業の流れ.....	S01-14_2
2-2 パーツ作成ジョブの登録.....	S01-14_2
◆集計表・グラフ.....	S01-14_2
◆Web ボタン	S01-14_5
2-3 ページの設計	S01-14_8
2-4 パーツ作成ジョブの実行と出力結果の確認	S01-14_12

マニュアルの表記

◆ 呼称について

本マニュアルでは以下の呼称を使用しています。

DataNature Smart 管理ツール :DN 管理ツール
DataNature Smart クライアント :DN クライアント

◆ 画面に表示されるコマンド名などの文字

コマンド名やダイアログボックス名など、画面上の固有の文字は [] で囲んで表記します。なお、ユーザーによって異なるデータボタンは < > で囲んで表記します。

【例】

[編集]コマンド、[検索]ダイアログボックス
<大阪営業所>データボタン

◆ マニュアルで使用しているアイコン



“注意”を意味します。

知っておくべき重要な事柄や行なってはならない操作など、注意すべきことについて記載されています。



“ポイント”を意味します。

操作や内容のポイントとなる事柄について記載されています。



“参考”を意味します。

知っておくと便利な操作や内容などのノウハウについて記載されています。



“参照”を意味します。

操作や内容に関連するマニュアルの参照ページについて記載されています。

◆ マニュアルで使用している画像について

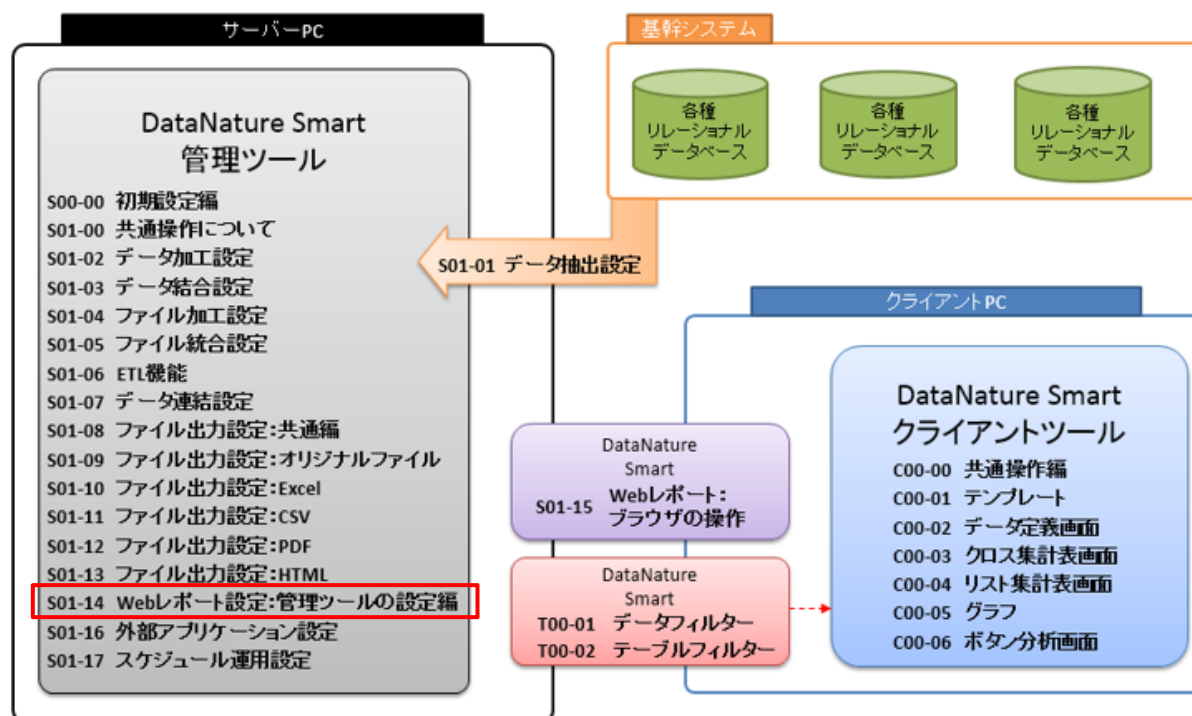
マニュアルで使用している画像には、開発中のものも含まれます。実際の製品と異なる場合がございますことをご了承ください。

◆ 機能について

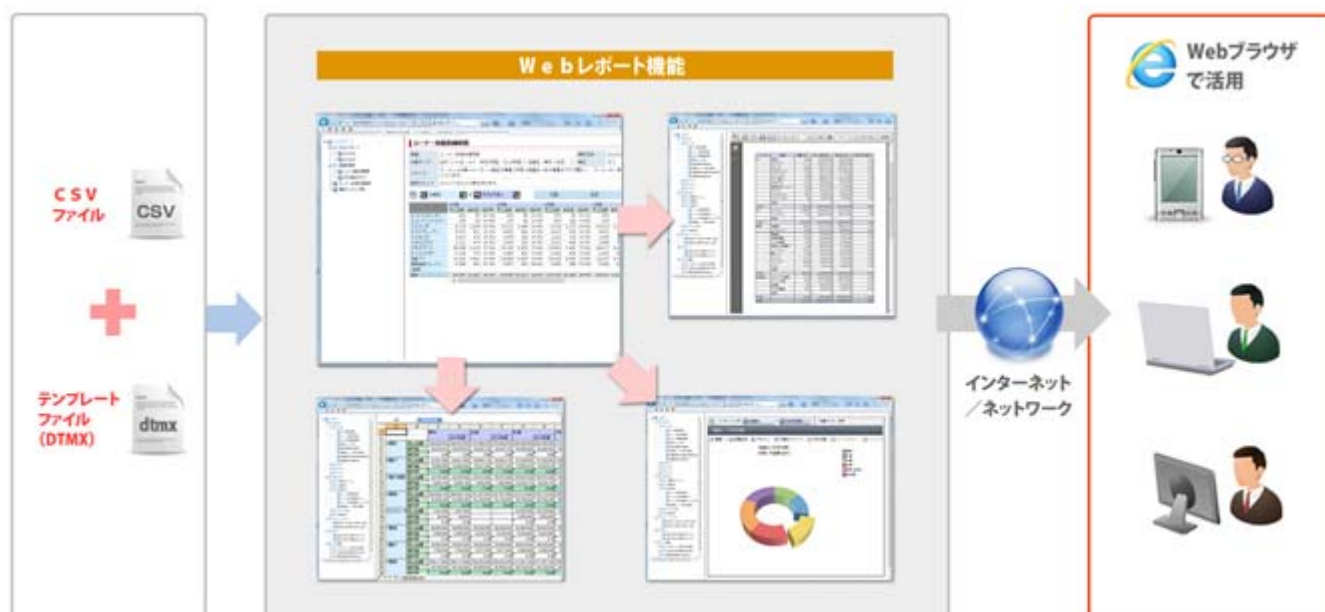
導入された製品構成によって、利用できない機能や制限があります。

1. DataNature Smart 全体概要

本マニュアルでは、S01-14 Web レポート設定: 管理ツールの設定編について記載しています。



- クライアントでテンプレート登録したアウトプット(集計表・グラフ)やボタン画面を Web ブラウザ上で表示・活用できます。
- ユーザーグループごとに表示するコンテンツの切り替えが可能。
- Excel や PDF もリンクして表示。

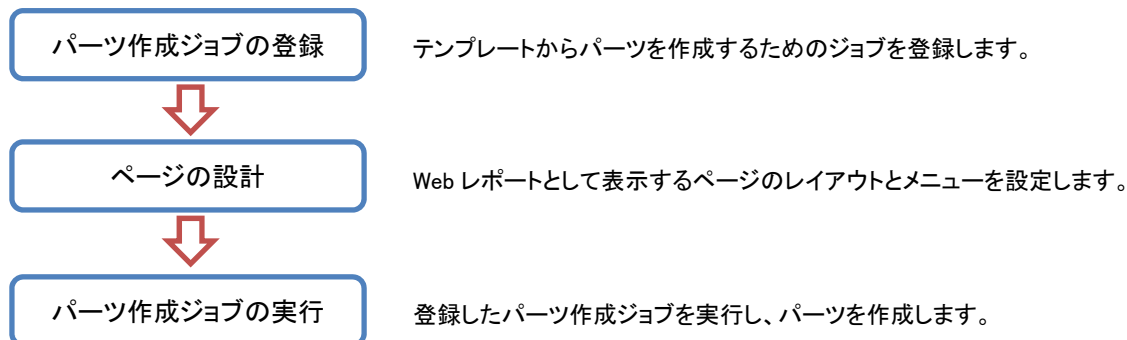


2. 基本操作

DNクライアントで登録したテンプレート(クロス集計表、リスト集計表、グラフ)を最新の分析用データファイルに適用し、その結果を Web ブラウザで閲覧するための Web レポートとして自動出力します。

2-1 作業の流れ

以下の手順で設定作業を行います。



※Web レポート設定に関連する名称について

Web レポート	1 つのメニューと、複数のページ(コンテンツ)で構成されています。メニューには各ページへのリンクが設定され、クリックによって対応するページが表示されます。
ページ	表示するパーツとそのレイアウト情報を登録したコンテンツです。
パーツ	1 つのテンプレートの内容を Web レポート出力フォーマットに変換したもので、パーツファイルとして保存されます。

2-2 パーツ作成ジョブの登録



Web レポート設定を利用するには、事前にDNクライアントで集計表やグラフ、ボタン分析画面のテンプレートを登録し、テンプレートファイル(*.dtmx)に保存しておく必要があります。

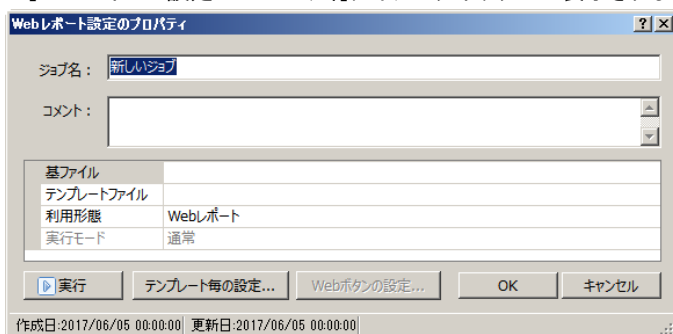
◆ 集計表・グラフ



DN 管理ツールの[DataNature の管理]-[ジョブ設定]ノードをクリックし、メニューバー[ジョブ設定]-[データ出力系作成]-[Web レポート設定]をクリックします。

([DataNature の管理]-[ジョブ設定]-[Web レポート設定]ノード上のコンテキストメニュー[新しいジョブ])

▼[Web レポート設定のプロパティ]ダイアログボックスが表示されます。



- ② [ジョブ名:]テキストボックスに、ジョブ名を入力します。
- ③ [コメント:]テキストボックスに、Web レポート設定についての説明などを任意に入力します。
- ④ 続いて、処理対象となるファイルと利用形態を指定します。
 基ファイル 分析対象のデータファイル(*.csv)を指定します。
 テンプレートファイル 基ファイルに適用するテンプレートファイル(*.dtmx)を指定します。
 利用形態 「Web レポート」を指定します。
- ⑤ [実行モード]で、処理を実行するモードを通常/オンメモリモードから指定します。(オンメモリモードは、64bit モードでインストールしている場合のみ指定可能です。)



オンメモリモードは、メインメモリにデータファイルの内容を保持したまま処理を行なうモードで、処理を高速化します。
 但し、一時フォルダーが SSD 上にある場合、効果はあまり期待できません。また、物理メモリが潤沢でない場合、メモリ不足が発生したり動作が遅くなる可能性があります。環境やデータによって効果は変動しますので、予めご注意ください。

- ⑥ [テンプレート毎の設定]ボタンをクリックします。
 ▼[テンプレート毎のプロパティ]ダイアログボックスが表示されます。

- ⑦ 左側の[テンプレート一覧:]から、出力するテンプレートをチェックオンします。
 [テンプレート一覧:]右横のドロップダウンリストから、テンプレートグループの指定が可能です。
- ⑧ テンプレートを選択すると、右側に出力用の詳細設定が表示されます。
 登録されているテンプレートによって、以下の各パターンの設定が行えます。

<クロス集計表>

出力範囲	
行	4
列	3
データセレクター	使用しない

<リスト集計表>

データセレクター	使用しない
----------	-------

<グラフ(クロス集計表)>

レイアウトの初期値	グラフ
出力範囲	
行	1
列	2
データセレクター	使用しない

<グラフ(リスト集計表)>

レイアウトの初期値

グラフ

出力範囲	ドリルダウン操作の階層数を指定します。参照ボタンをクリックすると[階層一括展開範囲指定]ダイアログボックスが表示され、行/列階層数を最大階層数以内で指定できます。初期値は、テンプレート登録時に設定されていたクロス集計表の最大階層数です。 なお、階層付きクロス集計表から作成したグラフに対しても出力範囲が指定できます。
データセクター	参照ボタンをクリックすると[データセクター設定]ダイアログボックスが表示されます。「 ☐ データセクターを使用する」をチェックオンすると、集計表のデータを Web レポート上で絞り込むための項目(1 個)を選択できます。
レイアウトの初期値	グラフのテンプレートでは、出力する対象をプルダウンリストから指定します。「データ表」を指定した場合には、グラフの元となった集計表が出力されます。またデータ表とグラフを同時表示させることもでき、グラフの配置を(上)/(下)/(右)/(左)から選択できます。



ここで選択したテンプレートの 1 つ 1 つが、Web レポートのページに配置できるパーツとなります。

- 9 出力する全てのテンプレートの設定が完了すれば[OK]ボタンをクリックします。

▼[Web レポート設定のプロパティ]ダイアログボックスに戻ります。



「2-3 ページの設計」を行った後で、[実行]ボタンをクリックすると、[読み込み件数の設定]ダイアログボックスが表示され、件数を限定してテスト実行することができます。

なお、ページの設計前に実行しても Web レポートの出力結果は確認できませんので、ご注意ください。

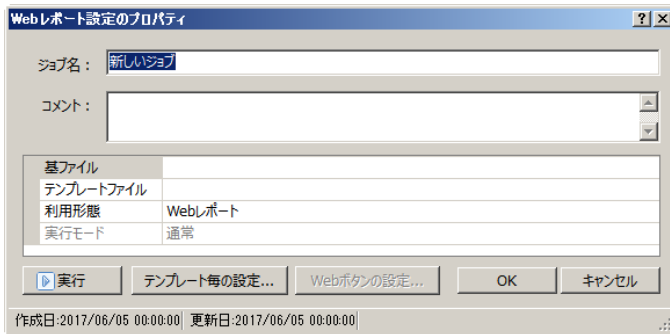
- 10 設定が完了しましたので、[OK]ボタンをクリックし、ジョブを登録します。

▼[Web レポート設定プロパティ]ダイアログボックスが閉じ、管理ツールの画面に戻ります。設定した内容がプロパティ表示領域に表示されます。

◆ Web ボタン

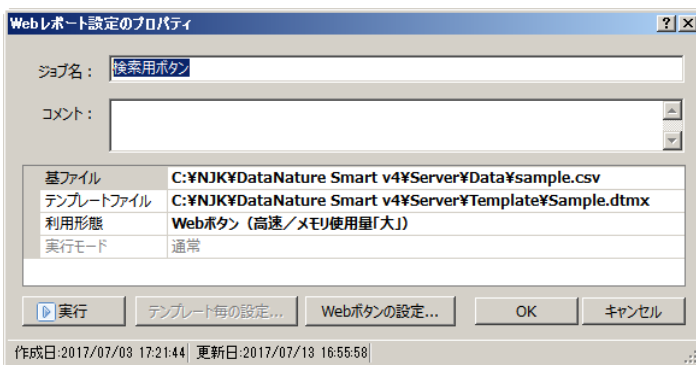
ボタン選択や条件入力により対象データを絞り込み、その結果を CSV ファイルへダウンロードします。

- 1  DN 管理ツールの[DataNature の管理]-[ジョブ設定]ノードをクリックし、メニューバー[ジョブ設定]-[データ出力系作成]-[Web レポート設定]をクリックします。
([DataNature の管理]-[ジョブ設定]-[Web レポート設定]ノード上のコンテキストメニュー[新しいジョブ])
▼[Web レポート設定のプロパティ]ダイアログボックスが表示されます。



- 2 [ジョブ名:]テキストボックスに、ジョブ名を入力します。
- 3 [コメント:]テキストボックスに、Web レポート設定についての説明などを任意に入力します。
- 4 続いて、処理対象となるファイルと利用形態を指定します。

基ファイル	分析対象のデータファイル(*.csv)を指定します。
テンプレートファイル	基ファイルに適用するテンプレートファイル(*.dtmx)を指定します。
利用形態	“Web ボタン (高速/メモリ使用量「大」)”または“Web ボタン (低速/メモリ使用量「小」)”を指定します。




[Web ボタンの操作中はメモリを多く消費するため、データ量やアクセス数によりメモリ不足が発生することがあります。処理速度は落ちますが、Web レポート設定のプロパティダイアログボックスで「利用形態」を「Web ボタン (低速/メモリ使用量「小」)」にすることでメモリ不足を回避できる可能性があります。

- 5 [実行モード]で、処理を実行するモードを通常/オンメモリモードから指定します。(オンメモリモードは、64bit モードでインストールしている場合のみ指定可能です。)



オンメモリモードは、メインメモリにデータファイルの内容を保持したまま処理を行なうモードで、処理を高速化します。但し、一時フォルダーが SSD 上にある場合、効果はあまり期待できません。また、物理メモリが潤沢でない場合、メモリ不足が発生したり動作が遅くなる可能性があります。環境やデータによって効果は変動しますので、予めご注意ください。

- 6 [Web ボタンの設定]ボタンをクリックします。
▼[Web ボタンの設定]ダイアログボックスが表示されます。

Webボタンの設定

使用するテンプレート: **標準ボタン分析画面**

使用するグループ: **分析用グループ**

条件入力領域:

No.	項目名称	ボタン表示	データ型	指定方法
1	年月	ON	日付型	範囲-入力
2	店舗名CD	-	文字型	直接-入力
3	店舗名	ON	文字型	直接-入力
4	コーナー名	ON	文字型	直接-入力
5	分類名	ON	文字型	直接-入力
6	メーカー名	ON	文字型	直接-入力
7	商品名	ON	文字型	直接-入力
8	数量	-	数値型	範囲-入力
9	売上金額	-	数値型	範囲-入力
10	粗利益	-	数値型	範囲-入力
11	予算額	-	数値型	範囲-入力

右側の設定表:

No.	1
列番号	1
項目名称	年月
条件入力欄を表示する	表示する
条件指定方法	範囲-入力
選択条件ファイル	
ファイルの対象列番号	1
ファイルのデータ開始行	2

☐ 条件入力領域をボタン領域の上に表示する
 ☒ 条件入力領域をボタン領域の下に表示する
☒ 条件入力領域を展開した状態をデフォルトとする
☐ テーブルフィルター領域を展開した状態をデフォルトとする

OK キャンセル

- 7 [使用するテンプレート:]のドロップダウンリストから、Web ボタンのベースとなるボタン分析テンプレートを指定します。
右横の[使用するグループ:]のドロップダウンリストから、指定したテンプレートに登録されているボタン分析項目グループの指定が可能です。
▼ボタン分析画面のテンプレートが表示されます。

使用するテンプレート:

- 検索用ボタン画面
- 標準ボタン分析画面
- 検索用ボタン画面
- 粗利状況確認ボタン
- 売上状況確認ボタン(前年比10%増)

- 8 テンプレートを選択すると、[条件入力領域:]に項目ごとの設定情報が表示されます。
設定を変更するには、対象の項目を選択し、右側に表示される[条件設定領域]で「条件入力欄を表示する」「条件指定方法」の取り扱いを設定します。

条件入力領域:

No.	項目名称	ボタン表示	データ型	指定方法
1	年月	ON	日付型	範囲-入力
2	店舗名CD	-	文字型	直接-入力
3	店舗名	ON	文字型	直接-入力
4	コーナー名	ON	文字型	直接-入力
5	分類名	ON	文字型	直接-入力
6	メーカー名	ON	文字型	直接-入力
7	商品名	ON	文字型	直接-入力
8	数量	-	数値型	範囲-入力
9	売上金額	-	数値型	範囲-入力
10	粗利益	-	数値型	範囲-入力
11	予算額	-	数値型	範囲-入力

右側の設定表:

No.	1
列番号	1
項目名称	年月
条件入力欄を表示する	表示する
条件指定方法	範囲-入力
選択条件ファイル	
ファイルの対象列番号	1
ファイルのデータ開始行	2

条件入力領域:

- 項目名称 ボタン分析画面の元になっているデータ定義画面の基本列での項目名称を表示します。
- ボタン表示 ボタン分析画面でボタンとして表示されている項目は「ON」、表示されていない項目は「-」で表示します。
- データ型 項目のデータ型を表示します。

指定方法 条件の指定方法を範囲-入力/範囲-選択/直接-入力/直接-選択で表示します。

指定方法	ブラウザ上のイメージ	ブラウザ上での入力方法
範囲-入力	数量 ~ 	以上・以下のテキスト欄に値を入力して、範囲を指定します。どちらか一方の指定も可能です。
範囲-選択	年月 2015/04/25 ~ 2015/05/25	以上・以下の[V]をクリックして表示されるリストボックスから対象を選択して、範囲を指定します。どちらか一方の指定も可能です。
直接-入力	メーカー名 	完全一致する文字列を入力します。
直接-選択	商品名 16WV30 7PC1 7PCJ1 A-RS6	リストボックスで対象を選択します。



日付データを指定する場合は、**文字列比較**となるため、ダウンロード対象のデータと条件入力したデータの区切り文字や桁数(0の有無)等が完全に一致している必要があります。



ここで選択したテンプレートが、Web レポートのページに配置できるパーツとなります。

9 テンプレートの設定が完了したら[OK]ボタンをクリックします。

▼[Web レポート設定のプロパティ]ダイアログボックスに戻ります。



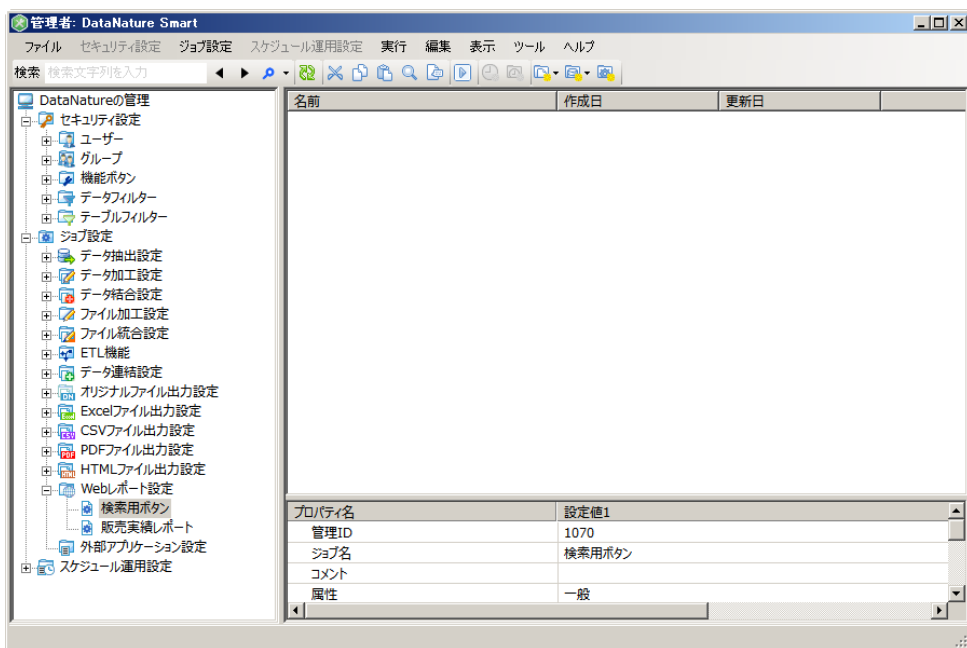
「2-3 ページの設計」を行った後で、[実行]ボタンをクリックすると、ブラウザ上で結果を確認できます。なお、ページの設計前に実行しても Web レポートの出力結果は確認できませんので、ご注意ください。

10 設定が完了しましたので、[OK]ボタンをクリックし、ジョブを登録します。

▼[Web レポート設定プロパティ]ダイアログボックスが閉じ、管理ツールの画面に戻ります。設定した内容がプロパティ表示領域に表示されます。



テーブルフィルターと連携する場合は、作成した Web ボタンのジョブをテーブルフィルターのプロパティダイアログで、対象の Web ボタンとして設定する必要があります。

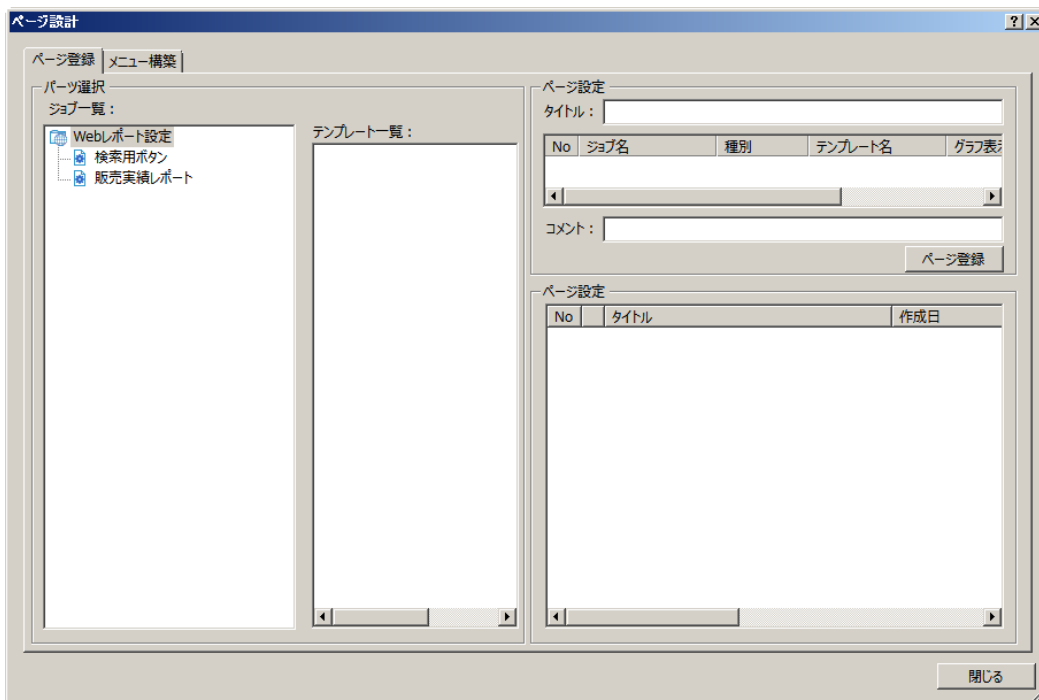


2-3 ページの設計

「2-2 パーツ作成ジョブの登録」で作成したパーツを、どのようにページに配置するかを設計します。
1つのページに1つのパーツをアサインでき、ページタイトルやメニューの構成を設定することができます。

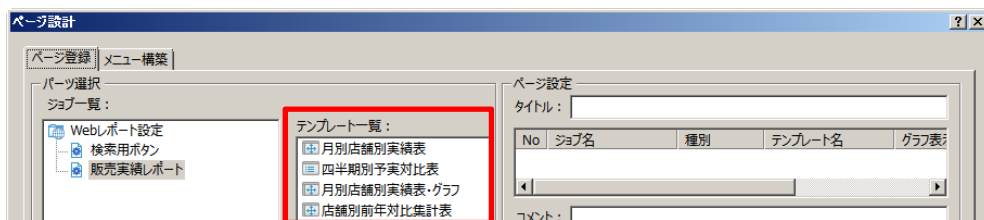
1. メニューバー[ツール]-[Web レポートの管理]-[ページ設計]をクリックします。
([DataNature の管理]-[ジョブ設定]-[Web レポート設定]で作成したジョブ名上のコンテキストメニュー[ページ設計])

▼[ページ設計]ダイアログボックスが表示されます。



- ② [ページ登録]タブの「パーツ選択」領域にある「ジョブ一覧:」から、出力したいパーツが登録されているジョブ名をクリックします。

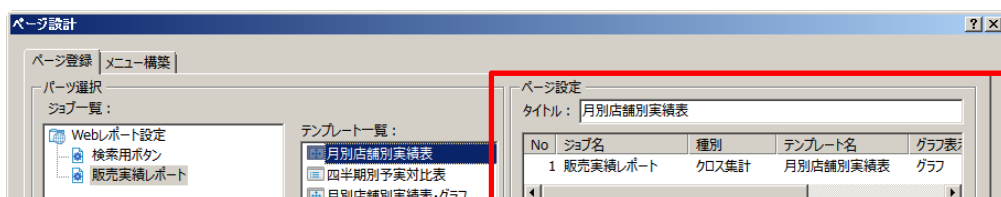
▼「テンプレート一覧:」領域に、Web レポートで出力可能なパーツが表示されます。



- ③ ページ設定を行うパーツをダブルクリックします。

▼「ページ設定」領域に、選択したパーツの情報が表示されます。

なお、複数のパーツを同一ページに追加することはできません。



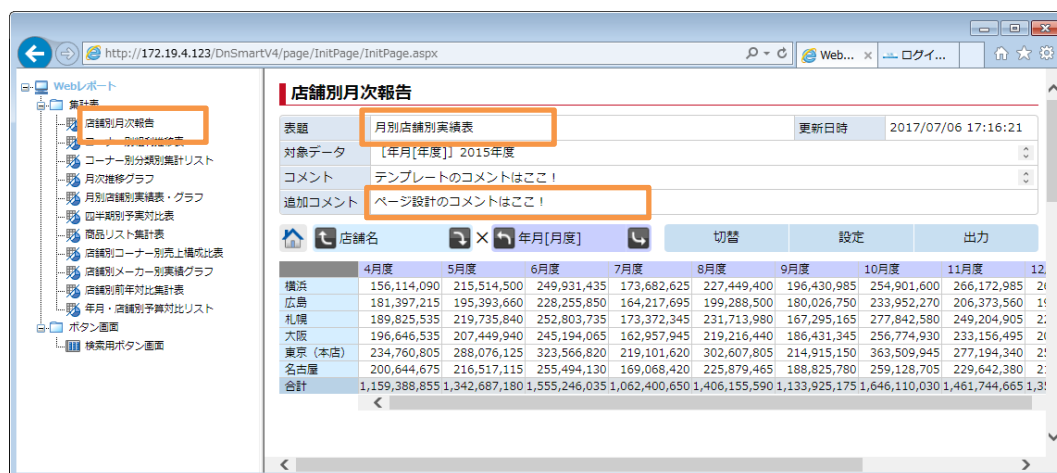
- ④ [タイトル:]テキストボックスに、ページタイトルを入力します。

- ⑤ [コメント:]テキストボックスにパーツについての説明などを任意に入力します。



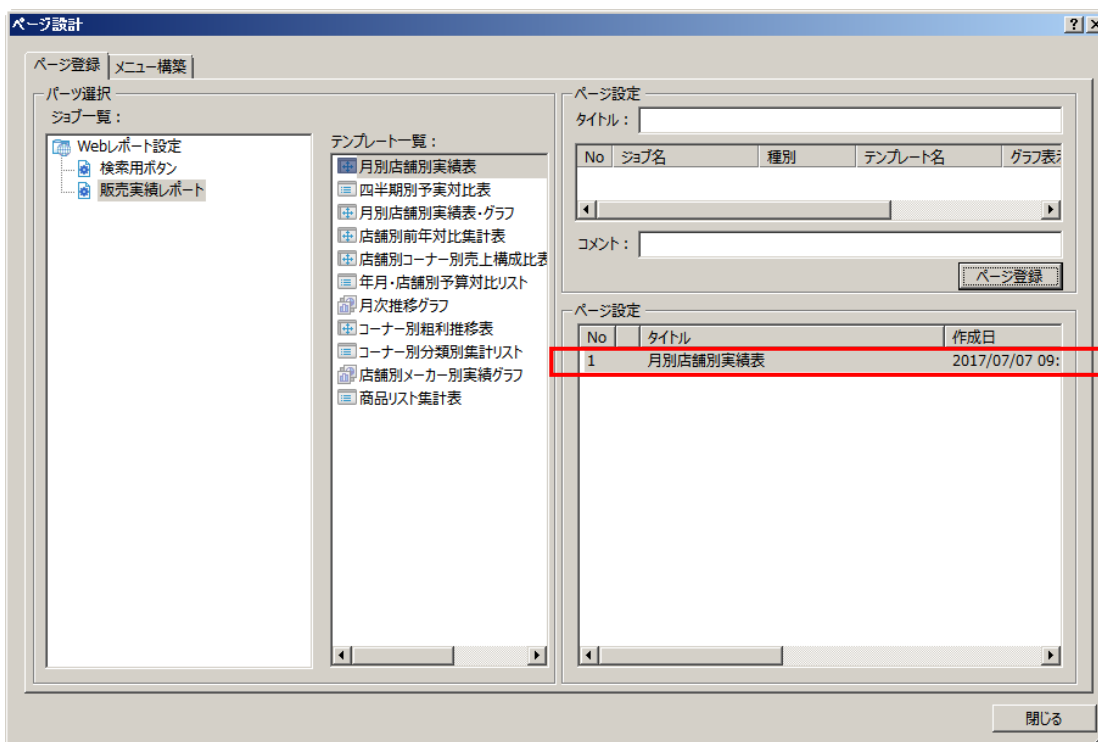
ページタイトルは、Web レポートのメニューやページ上部に表示されます。

コメントは、「追加コメント」欄に表示されます。



- ⑥ [ページ登録]ボタンをクリックします。

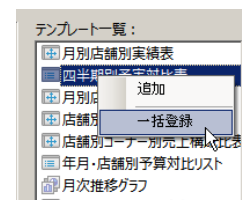
▼[登録済ページ:]領域に、設定したページ情報が表示されます。



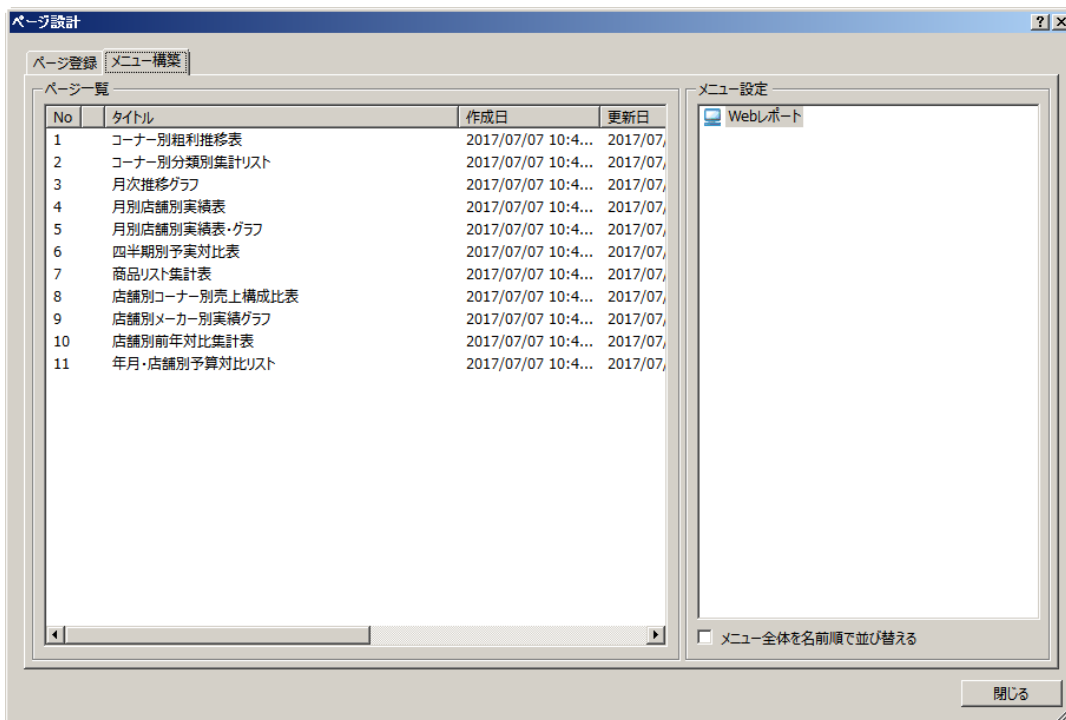
「登録済ページ:」欄は、タイトル名の昇順で表示されます。



「テンプレート一覧:」領域で、右クリックし表示されるコンテキストメニューから、表示中のすべてのテンプレートを一括登録することもできます。

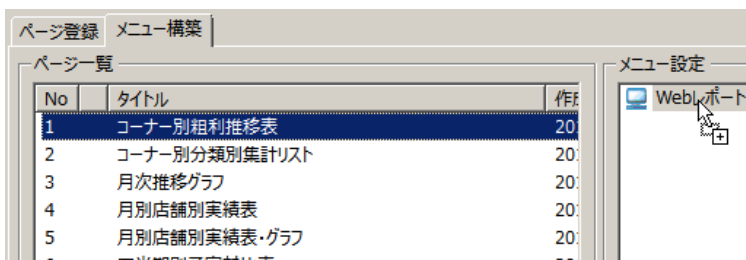


- ⑦ 手順②～⑥を繰り返し、Web レポートとして利用するパーツのページ設定を行います。設定後、[メニュー構築] ボタン([メニュー構築]タブ)をクリックします。
▼[メニュー構築]タブが表示されます。

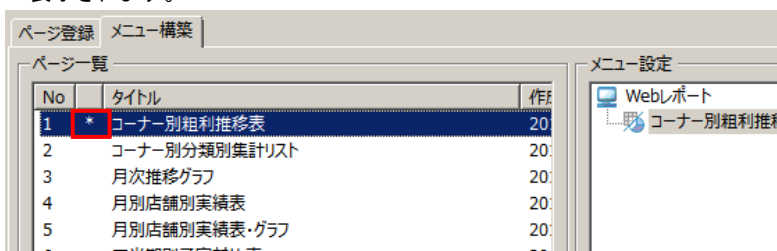


- 8 手順⑤で設定したページ情報が、「ページ一覧」欄に表示されます。この中から、右側の「メニュー設定:」領域にドラッグ＆ドロップして、Web レポートのメニューを構成します。

▼[Web レポート]にドラッグします。



▼[Web レポート]からツリー状にメニューが展開されます。メニューに配置済みのページについては、タイトルの前に「*」が表示されます。



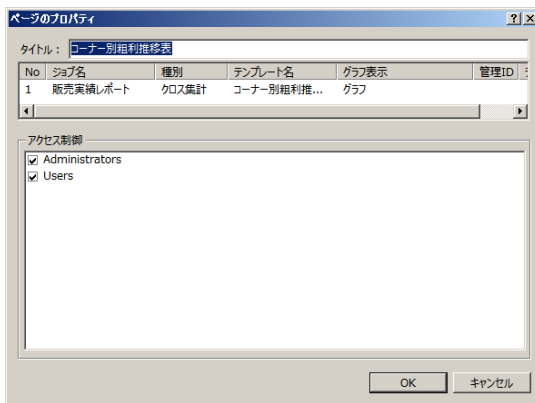
メニューの並び順は、タイトル名の昇順で表示されますが、メニュー設定欄下方のチェックボックスで切替可能です。

また、[Web レポートのルート]ノード上の右クリックメニューから、[新しいフォルダー]をクリックすると、ルート配下にフォルダーを作成でき、その中にページをドラッグ＆ドロップすることもできます。

- 9 ページへのアクセス制御を設定する場合には、[メニュー設定]欄の該当するページ名ノード上の右クリックメニューから、[プロパティ]をクリックします。

▼[ページのプロパティ]ダイアログボックスが表示されます。

Web レポートを見せる対象(ユーザー)を「アクセス制御」領域で設定できます。設定対象となる単位は、[セキュリティ設定]-[グループ]で登録しているグループ単位です。なお、ここではページタイトルの編集も可能です。



アクセス制御は、DN 管理ツールのメニューバー[ツール]-[オプション]で表示される[オプション]ダイアログボックスの[セキュリティ]-[認証方法]にある「☐ Web レポートのログイン認証機能を有効にする」をチェックオンした時に有効となります。チェックオフの状態ではアクセス制御を設定しても、出力結果には反映されませんのでご注意ください。



Excel/ PDF/HTML ファイル出力設定で出力したファイルや外部サイトをリンクすることができます。

[Web レポートのルート]ノード上の右クリックメニューから、[新しいリンク]をクリックすると、[リンクのプロパティ]ダイアログボックスが表示され、ページタイトルと、リンクさせるファイル(またはリンクさせる URL)、アクセス制御を設定できます。

なお、各ファイルを Web レポートにリンクさせる場合は、Excel/PDF/HTML ファイル出力設定時に、「利用形態」を「Web レポート」に設定して出力しておく必要があります。

- 10 手順⑧～⑨を繰り返し、メニューを構成します。設定後、[閉じる]ボタンをクリックします。



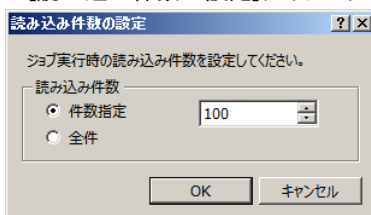
配置したページを解除する場合は、ページ名上の右クリックメニューから[解除]をクリックします。確認メッセージが表示され、「ページ一覧」欄のタイトルの前の「*」が非表示になります。

ページを削除する場合は、「ページ一覧」欄にて、削除対象のページ名上の右クリックメニューから[削除]をクリックします。確認メッセージが表示され、[ページ登録]タブの「ページ設定」欄からも削除されます。

2-4 パーツ作成ジョブの実行と出力結果の確認

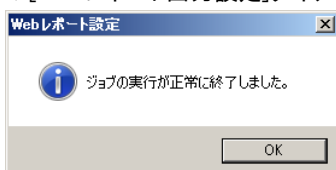
ページを設計した後、Web レポート設定で作成したジョブを実行して、Web レポートの出力結果を確認します。

- 1 [DataNature の管理]-[ジョブ設定]-[Web レポート設定]で作成したジョブ名を選択し、メニューバー[実行]-[実行]をクリックします。
([DataNature の管理]-[ジョブ設定]-[Web レポート設定]で作成したジョブ名上のコンテキストメニュー[実行])
▼[読み込み件数の設定]ダイアログボックスが表示されます。



- 2 件数を指定(または全件をチェックオン)して、[OK]ボタンをクリックします。

▼[Web レポート出力設定]ダイアログボックスが表示され、処理が終了します。



- 3 続いて、出力結果を確認するため、Internet Explorer を起動し、「http://(コンピュータ名または IP アドレス)/DnSmartV4/page/Login/Login.aspx」という URL アドレスを入力して、Web レポート画面を表示します。

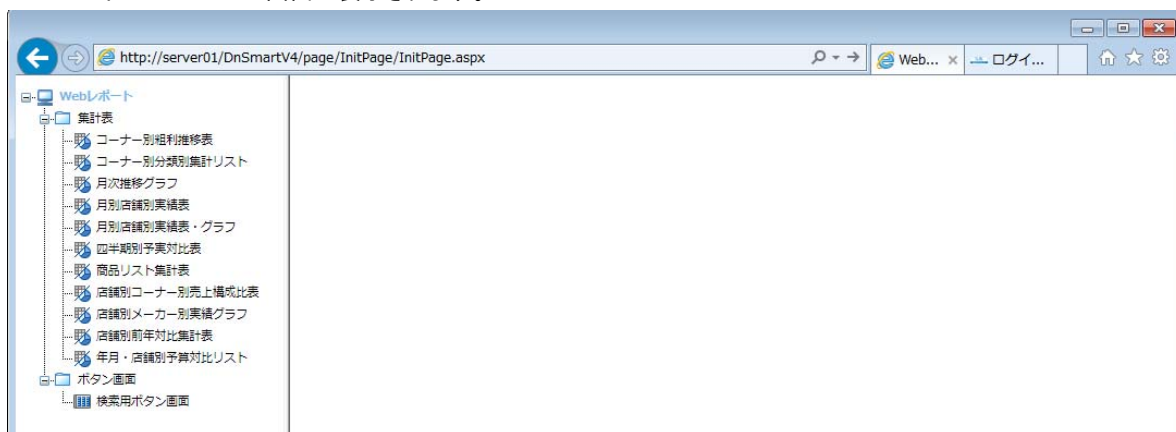
▼Web レポートのログイン画面が表示されます。



DN 管理ツールのメニューバー[ツール]-[オプション]にある[セキュリティ]-[認証方法]で、「☐ Web レポートのログイン認証機能を有効にする」をチェックオフしている場合は、ログイン画面が表示されず、すぐに手順④のメニュー画面が表示されます。詳細は、次ページの「参考」情報をご覧ください。

- ④ DN 管理ツールに登録されているユーザー名とパスワードを入力し[ログイン]します。

▼Web レポートのメニュー画面が表示されます。



ブラウザ上での Web レポートの操作方法は、S01-13「Web レポート_ブラウザの操作」をご覧ください。



Web レポートのログイン認証機能について

DN 管理ツールのメニューバー[ツール]-[オプション]にある[セキュリティ]-[認証方法]から設定できます。

Webレポート

☒ Webレポートのログイン認証機能を有効にする
 タイムアウトまでの時間(秒):

☒ Webレポートからのパスワード変更を有効にする

☒ Webアクセスログを出力する

☐ Web レポートのログイン認証を有効にする

Web レポートでログイン認証機能を有効にする場合にチェックオンします。また、認証時のタイムアウトまでの時間(秒)を 3~60 の間で指定できます。

☐ Web レポートからのパスワード変更を有効にする

Web レポートのログイン認証機能が有効な場合に設定できます。設定すると、Web レポートのログイン画面で、ログイン用のパスワードを変更できます。

▼パスワード変更を無効にした場合は、ログイン画面の[パスワード変更]ボタンが非表示になります。



□Web アクセスログを出力する

Web レポートページのアクセスに関する情報を出力することができます。設定すると、ログビューアーから「Web アクセス」のログが見られるようになります。



Web レポート実行時の前提条件について

- Web レポートのプログラムがインストールされていること。
- IIS で、ASP.NET が利用可能になっていること。
- IIS の Web サービスが実行されていること。
- DataNature Smart Web レポートサービス(DataNature Service WAS V4)が実行されていること。
- Datanature Smart の各種ファイルが既定のフォルダー配下に出力されていること。